



冒険の森の活動風景



大人の森林ボランティア講座

かしたいという人たちに森林
所有権を」というスローガンの
もとに活動を続けています。

3つの森林を 舞台にした活動

現在、みんなの森財団の活
動舞台となっているのは3つ
の森林。それぞれの特性にあ
わせて、「景観の森」「冒険の森」
「銀の森」と名づけられていま
す。

「景観の森」では、約0・81ヘ
クタールの多様な樹々が生い
茂る美しい森林を目指した整
備が行われています。戦後大
量に植林され、その後放置さ
れていた杉・檜を伐採、広葉
樹に転換することで花粉症飛
散量を減少させ、森に彩りを
取り戻すことで、花を愛で香
りを味わう、四季折々の自然
を満喫する癒しの森を目指し
ています。

また、森林整備技術の伝承、

人々と森林の距離感を 縮めるために

みんなの森財団の目的は、
本場に森林を活かしたい、活
用したい、利用したいと思っ
ている人たちの手に森林を所有
させることであり、スギを植
えた先祖の苦勞を引き受けよ
うとする人たちの手に森林を

所有させることです。

そのため、森林の調査・購
入を進め、購入した森林を「み
んなの森」と呼んで多くの入
たちに解放しています。また、
より多くの人たちが森林に参
加できるよう、さまざまなプ
ログラムを実施。人々の生活
と森林の距離感を縮めていく
ため、「森林を活用したい、活

平成22年に設立された一般財団法人みんなの森財団は、東
京都の西部に位置する西多摩郡日の出町にある3つの森を活
動の場としています。

その目的は放置された森林を調査・購入し、必要とする
人々が活用できるように整備することと、自ら森林の整備を
したいという人々に対する技術の指導を行うことで、より多
くの市民が森林の恩恵を直接的に、もしくは間接的に享受で
きる「共有の森」を創り出すことです。



季節イベントのひとつ、流しそうめん



銀の森



出張授業でベンチづくり



福島っ子元気キャンプ



景観の森

習得と人材育成の場として活用されており、伐採、ボサ刈り、枝打ちなどの森林整備の基本技術の習得にも役立っています。

「冒険の森」は、沢や滝などの水辺や岩場を含む約2ヘクタールの森林。子どもも大人もみんなが自由に駆け回れる森を目指した整備が進められ、散策やキャンプ、岩登り、ツリーハウスづくりなどを通して、本物の自然の楽しさ、厳しさを学ぶ場所となっています。

「銀の森」は、シニアのための憩いの森を目指して整備されている約1ヘクタールの森林。ゆつたりとした作業をしながら、森の空気に癒され、季節ごとに変化する森の風景を楽しむ場として活用されているほか、多様な樹種の広葉樹を利用して樹木が学べる森林となっており、山菜など季節の恵みも豊富です。

森林の持つ機能を活かした活動

みんなの森では、3つの森の機能を活かし、さまざまなイベントが行われています。

そのひとつ、「大人の森林ボランティア講座」は、森林ボランティアに興味がある人々を組織化しようという試み。知識や技術だけを伝える講座ではなく、山や道具、そして人と触れあい、なじんでいくことで森林と関わっていく楽しさを知ってもらい、継続性のある活動へとつなげていくことを目的としています。

今年3月末には、原発の影響で安心して外で遊ぶことができない福島の子供たちに、楽しく春休みを過ごしてもらおうと、福島県下の小学3年〜中学3年生を対象とした7日間の「福島っこ元気村キャンプ」を複数の団体と連携して開催したほか、どんど焼きや流しそうめんなど季節のイベントや小学校への出張授業などの活動を精力的に行っています。また、5月には、みんなの森の2周年を記念した「みんなの森の日・竹と木の音楽祭」も開かれる予定です。

一般財団法人
みんなの森財団

- 会員数 200人
- 活動フィールド 東京都日の出町三ツ沢「景観の森」、焼岩「冒険の森」、肝要「銀の森」
- 活動日 景観の森：月・水・金・土・日・祭日、冒険の森：第三土曜日、銀の森：第二土曜日
- ホームページ <http://www.minnanomori.org/>